

科学研究費基盤研究（C）18K00490

「マルセル・プルーストと大衆化の力学：小説の生成過程と受容過程をめぐる表象史研究」

オンライン研究会

認知心理学におけるプルースト受容 「プルースト現象」について

発表者 : 山本 晃輔 氏 (大阪産業大学准教授)
コメンテーター : 坂本 浩也 (立教大学教授)
司 会 : 小黒 昌文 (駒澤大学教授)

日時 : 2022 年 1 月 29 日 (土) 14:00-16:00

場所 : オンライン開催 (Zoom)

内容 : 小説『失われた時を求めて』の受容の一形態として、近年の認知心理学における「プルースト現象」への注目とその研究動向について分析し、この用語の普及がもたらすプルーストの大衆化のありかたについて考察する。

参加方法 : 1月15日までに、下のリンク先に必要事項を記入して送信してください。当日の午前中に視聴用の URL をお送りします。

https://docs.google.com/forms/d/10jO8Eo5vxbBxk_G4HT4zGLz5vRSjDonmDy6udTkH4aI/

発表者略歴

山本 晃輔 (やまもと・こうすけ)

大阪産業大学国際学部国際学科准教授。立命館大学 BKC 社系研究機構客員研究員。関西大学大学院文学研究科博士課程修了。博士 (文学)。認知心理学の観点から、嗅覚と記憶の関係について研究を行っている。著書に『嗅覚と自伝的記憶に関する心理学的研究』(風間書房、2016 年)。「プルースト現象」に関する研究内容が朝日新聞 (2020 年 12 月 22 日) で紹介された。

問い合わせ先 : proust.rikkyo@gmail.com